

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)  
(法第 28 条関係「書類の備置き」)  
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

## 平成 27 年度の事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 つどい

### 1 事業成果

平成 27 年度も引き続き、自治会、地域活動グループと協働した事業の展開を行った。岩手県の助成事業である担い手の育成事業や復興庁の新しい東北の事業は、人材の育成の面に注力した。中間的支援としての「場のコーディネート」と「地域の資源視覚化」の実施結果として、地域住民の主体性を発揮できる企画の創出、新たな地域団体団体との共同事業などが行えるようになった。「お楽しみ市」や「いどばばた」の住民の集まりも、地域に定着を見せている。

地域間交流活動では、新たな生活空間での関係性づくりに、本事業の集いの場がかつようされて、顔の見える関係づくりとなっている。また、町外にも情報発信や交流活動の機会を設けることでのソーシャルキャピタルの維持強化にも繋がった。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

◆事業名	① 地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業 《AAAプロジェクト事業》
事業内容	震災後の地域資源見直し、地域福祉の向上を図る。地域住民の交流イベント企画運営や、地区行事のサポートを実施。地域住民の支えあい構想の実施とする。地域住民の集まる場づくりを通して自立支援の様々な活動を展開する。
実施日時	平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日まで
実施場所	大槌町一円
受益対象者の範囲及び人数	人 大槌川流域の近隣住民を中心とした大槌町全世帯
事業費の金額(千円)	3,301 千

## ①地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業の詳細

具体的な事業内容

具体的な事業内容 《AAAプロジェクト事業》	①-1) いどばたの開催 (9回開催)
実施日時	平成26年4月14日～27年3月31日
実施場所	大槌町内：福幸きらり商店街 仮設集会所 安渡公民館 大ヶ口多目的集会所 中央公民館 赤浜
従事者の人数	10名
受益対象者の範囲及び人数	300名

大槌の文化や暮らしの知恵を語り学び合う機会を「いどばた」と呼び集まりを持つ。まちづくりに住民の知恵や経験を活かすよう言葉をまとめていく。生活文化を残すことで、町の資源の再価値化を図る。写真・文章・映像での記録を行う。年代を超えて交わる機会が少なくなっている。本事業が世代間交流や暮らしの知恵を見直す。

### 【いどばたの開催】

6月3日(水) 町の記憶を残す

6月11日(木) 「いどばた」お披露目会 ※新聞掲載

7月7日 いどばたDVD上映会

7月16日 こどものころの懐かしおやつ&遊び

7月30日 昔たべたもの探し 植物・木の実等

8月12日 地域の大切にしたい事①故郷の記憶

8月20日 地域の大切にしたい事②安渡地区の風習 つけ木饅頭作り (体験も同時開催)

9月11日(水) 伝えること・伝え方を考える

11月7日：大鍋クッキング 鮭汁の下ごしらえ



お披露目会



冊子の表紙



手づくり団子



具体的な事業内容 《AAAプロジェクト事業》	①-2) 町内地域間交流イベント
実施日時	H27年4月12日、6月13・14日、8月29日、 12月27日、2月6日

実施場所	大槌町内 復興きらり商店街駐車場 仮設住宅集会所 喫茶ムーミン サポートセンター
従事者の人数	40名
受益対象者の範囲及び人数	650人

地域間の人々の交流を促進していく事は、震災教訓の風化を防ぐ、地域の支え合いの再構築のため、他者や社会との接点を持つ機会を生み出していく。作業や企画イベントの同字体験を通じていくことで顔の見える関係づくりを促すよう取り組んだ。

【実施企画事業】

	<p>●復興グルメ F1 大会・きらり商店街 3 周年企画 4 月 12 日 大阪河内長野市からのミニ SL の登場や地域イベントへの住民参加のサポートを実施。地域住民も積極的にボランティアスタッフとして参加となる。</p>
	<p>●ちゅうりっぷでえをかこう 5 月 3 日 新潟 IYEO-岩手 IYEO 被災地間交流活動。地域住民参加し、チューリップの作品を作る。地域の方々の外出、語り合うきっかけづくりを促進。縁側カフェの開催で対話の場を作る。</p>
	<p>●ヨガ教室 6 月 5 日・8 月 28 日 仮設住宅集会所、サポートセンター、役場職員向けに実施。長期化する被災地の暮らしの心身のケアを行う。</p>
	<p>●チャリ団コンサート 7 月 29 日 長崎県島原市からやって来た島チャリ楽団の 4 名。エールサポートセンター・安渡保育園で演奏会を行う。24 年前の雲仙普賢岳の火山被害の際～東日本大震災へ繋げる。</p>
	<p>●もちつき大会(季節行事の開催) 12 月 27 日 地域行事を行い、離れている地域課の住民の集まる機会を作り出す。参加者は、世代や地域を超えての共同作業や季節感の大切さなど再確認する。</p>

	<p>●ポーポキ友情プロジェクト 2月6日 震災後から続いている『友情物語』プロジェクト。日本・世界各国ので平和や震災になどのワークショップを実施。神戸大学を中心としたメンバーとWSと展示会を開催。</p>
	<p>●展示会「パリの子供たちからのメッセージ」 3月9日～11日 東日本大震災の被害を伝える展示会。パリの子供たちから寄せられたメッセージと、大槌の写真家伊藤陽子氏の写真とコラボレーションで展示。</p>

<p>具体的な事業内容 《AAAプロジェクト事業》</p>	<p>①-3) 地域の居場所づくり 図書館サポート</p>
<p>実施日時</p>	<p>平成27年4月14日～27年3月31日</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌小学校図書室</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>10名</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>1000名 図書館利用の小学生 300名</p>

子ども達の居場所作りの事業。2年前に仮設の小学校図書館作成を行い図書の管理部分を図書ボランティアとともに継続して管理している事業。図書空間を整備し、子供たちへの情報の提供や居場所として仮設校舎内のストレスを軽減に向けて実施した。

月ごとの装飾づくりから、図書館へ装飾飾りつけ（端午の節句・七夕・ハロウィン・クリスマス・ひな人形など）や本の修繕を行う。モバイルと昔話の絵本の場面6話と大槌の民話の紙芝居作りも実施した。




<p>具体的な事業内容 《AAAプロジェクト事業》</p>	<p>①-4) 町外地域間交流サポート</p>
<p>実施日時</p>	<p>5月17日18日、6月4日、6月25日、8月29日、10月18日</p>
<p>実施場所</p>	<p>兵庫県神戸市 盛岡市 遠野市小友町、紫波町</p>

従事者の人数	14名
受益対象者の範囲及び人数	140名

大槌町外に移住された方、支援者の方々との交流の継続と、震災教訓やまちづくりなど住民主体となる先行事例の視察を行う。町外へ転居された方々との交流は、故郷の思いを互いに共有し合うことで、心理的なサポート体制の関係性を持つことになる。ソーシャルネットワークの維持強化につながる。

	<p>●神戸まつり参加・公営住宅等復興現場視察訪問 5月17日18日（神戸大学・つどい・臼澤鹿子踊メンバー） 阪神淡路大震災から20年が経過した現在の状況視察と、住民・大学生と交流会を実施。震災の教訓や風化防止等話す機会となる。</p>
	<p>●大槌一小友更生保護の会視察と交流会 6月4日 震災の支援での協力関係～住民交流。18名の更生保護の会の方々が、大槌を訪問、花壇の整備や同じ活動をしている大槌の方々と交流。共に支える関係作りとなる。</p>
	<p>●お茶っこの会@盛岡支援センター 6月25日 震災後大槌町外に居住、移住している方々と、大槌町の情報や人々の交流を新たな地域でも展開していく。井戸端の冊子を届け、参加の皆さんから大槌を語り郷土とのつながりを維持していくサポート行う。</p>
	<p>●小友祭り・交流会 8月29日 小友祭り（遠野市）に合わせて、小友地区の方々・大槌・希望ハウス「絆」（遠野市にある仮設宇住宅）の皆さんとの交流会が開催。懐かしい顔との再会の喜びと、地域を振り返ることができた。</p>
	<p>●紫波の大槌会 9月28日 紫波町公民館で、月一回開催される大槌会に参加。普段の様子や大槌の様子を話したり、「いどばた」の冊子をきっかけに故郷の良さを話し、移住した生活環境などに耳を傾けた。</p>

	<p>●着物リメイクファッションショー 10月18日          着物リメイクファッションショーが盛岡アイーナで開催。大槌から19名が参加し自分の作った作品を身にまとい出演。陸前高田、気仙の着物リメイク教室のみなさんも集まり地域のつながりが持たれる。</p>
---	--

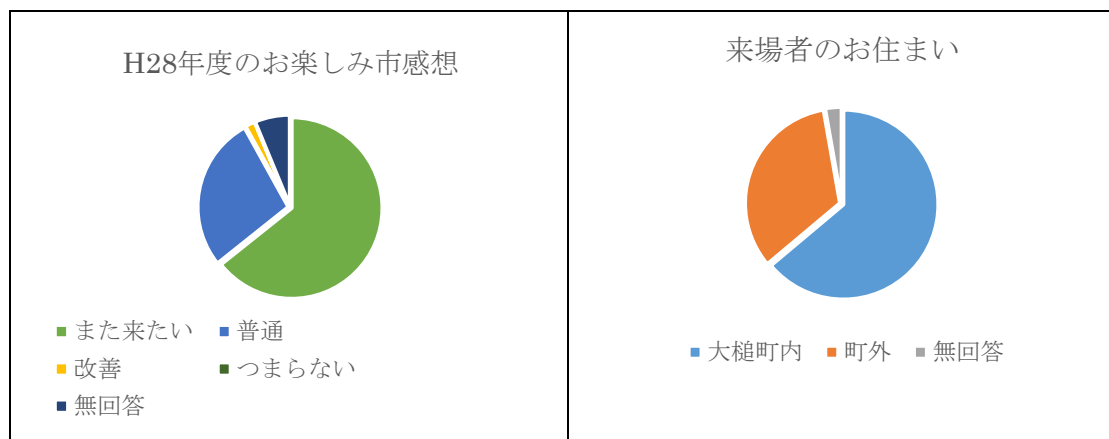
②<<お楽しみ市事業>>

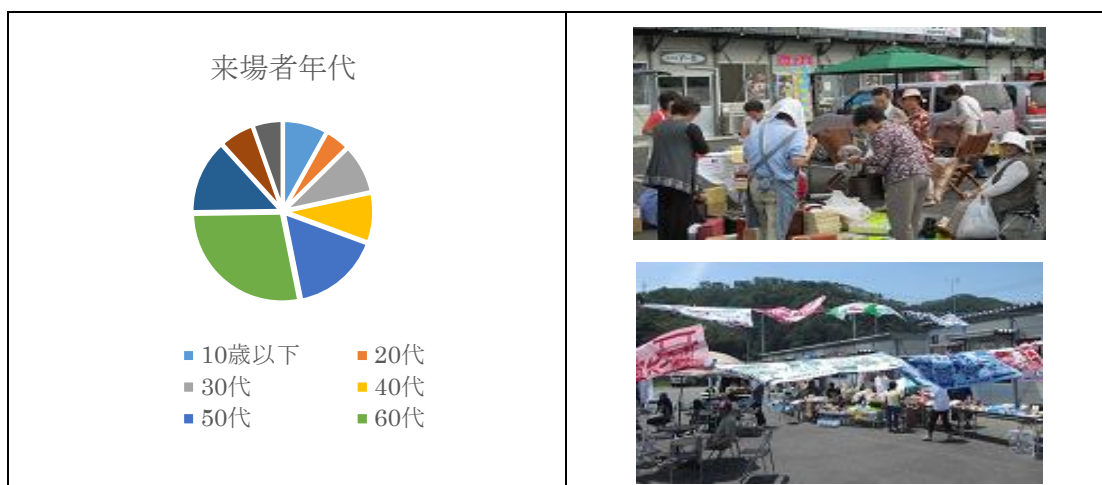
<p>◆事業名          &lt;&lt;お楽しみ市事業&gt;&gt;</p>	<p>②地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業          : 地域間交流促進、ソーシャルビジネス実践者の育成</p>
<p>実施日時</p>	<p>6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日（7回開催）</p>
<p>実施場所</p>	<p>福幸さらり商店街 わらびっこ商店街、大ヶロ多目的集会所</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>出店者 140人（20人/回）スタッフ 35人（5人/回）</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>1400人（180～200人/回）</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>63千</p>

住民主体的に当日運営を行うお楽しみ市を7回開催する。町内出店者、釜石市、盛岡等より参加がみられる。青空市の開催が定着してきた。

ハーモニカ、ハンドベル、紙芝居等で会場を盛り上げてくれる住民協力者の確保となった。青空市では、地域の資源のためコーラスや音楽、踊りなど地域の人々の発表の場として賑わいを追加した。

- ・子どもたち参加：ボーイスカウトのお店・絵本の読み聞かせグループ
- ・地域の活動グループ：紙芝居・ハーモニカ・さんさ踊り・ハンドベル





### ③<<赤い羽根支えあい事業>>

◆事業名 《赤い羽根共同募金》	③町民活動の拠点と地域間交流サポート事業 赤い羽根共同募金会
実施日時	平成 28 年 2 月 4 日～2 月 6 日
実施場所	大槌町内（桎内仮設、シーサイドタウンマスト）盛岡市
従事者の人数	6 人
受益対象者の範囲及び人数	20 110 人
事業費の金額(千円)	37 千

年末の企画や着物リメイクの物作り、作品展示を通じて、住民交流が仮設集会所から広がりを持つことで今後の居住地の変化や地域コミュニティの変化に対応する仲間づくりへ発展させていく。今後の、様々な住民活動の広がりを持つことへのサポートを実施。



#### ●クリスマス会@第7仮設


歳末助け合い運動の支援金を活用し、大槌第7仮設集会所にてクリスマス会を開催。子どもたちも準備から協力し、大人数でたべる大きなケーキは、楽しさをさらに倍増するなど世代間、今後移移転が決まる住民同士の交流を図った。



#### ●着物リメイクを通じての被災地間交流と

##### 継続した活動チームづくり

平成 28 年 2 月 4 日～平成 28 年 2 月 6 日  
着物リメイク講師小赤沢直子氏を講師として招聘。シーサイドタウンマスト集会スペースで実施。

	<p>110名の町民が、作品や着物リメイクに興味を示し来場。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施効果、評価 ものづくりのネットワークの関心の高さ、ニーズを聞き出すことができた。</li> <li>・住民が準備～当日の運営に主体的にかかわってくれた。</li> </ul>
---	--

#### ④《復興の担い手》

<p>◆具体的な事業内容 《復興の担い手》</p>	<p>④平成27年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業</p>
<p>実施日時</p>	<p>H26年7月～H27年3月</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌町内</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>4人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>20000人（冊子の配布数含む）</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>748千</p>

地域の担い手の情報発信と担い手の地域への定着と創発するネットワーク構築を目的に事業を展開する。大槌町の若者を中心とした活動が復興のプロセスにおいて創造的な知恵が互いに共有される「対話の場づくり」の機会と「発信すること」を担い手の若者と地域社会の両者に働きかける。以下（１）～（３）の内容を含む事業の展開を行った。

- (1) 地域活性化への取り組みに関わる人材の発信：若者を中心としたグループディスカッション・意見交換会の開催。
- (2) 全国のまちづくり・地域活性化の取り組みの紹介：地域の担い手のネットワーク構築のため紙面やSNS、ホームページの活用し情報発信を行う。
- (3) 若者やIJUターン者の大槌のライフスタイルの提案：大槌の自然や文化の価値の再認識と活用について担い手と検討し、情報発信素材を作成する。

#### ●ワークショップの開催：開催：全4回 のべ参加人数：74名

- ①2015年9月4日 場所：おらが大槌夢広場（大槌町沢山）  
テーマ：「まち」の事に若者が関心を持つには？
- ②2015年11月10日 場所：大槌町コミュニティプレイス（大槌町町方）  
テーマ：女子の視点から、わくわくするまちづくりを話そう
- ③2015年12月12日 場所：大槌町コミュニティプレイス（大槌町町方）  
テーマ：移住 移住の現状を知ろう 岩手移住計画交流会@大槌
- ④2016年1月16日 場所：大槌町金沢  
テーマ：スローライフと地域の資源の活用について考える





● 冊子の作成と情報発信 : 3回発行 まとめ冊子 発行部数のべ 21000部

ホームページやフェイスブックによる情報の発信事業の実施

冊子: ① 8月25日号 ② 11月25日号 ③ 1月20日号 (参考資料添付)

配布地域: 大槌町内全戸 5200戸、町内公共施設 (公民館・図書館・情報プラザ)

岩手県内施設 (県庁・紫波公民館・岩手連携復興センター・ゆいっこ花巻・まんまるママい  
 わて・北上市生涯学習センター・NPO活動交流センター・もりおか復興支援センター・一関  
 市社会福祉協議会・特定非営利活動法人復興支援奥州ネット (ホーププラザ奥州)、大槌関連  
 の店舗 (盛岡・北上) ふるさと大槌会、物産展など首都圏に大槌を発進するイベントや企画

インターネット上での情報発信: 随時情報を発信する手段。先行地域づくりや、  
 若者主体の活動、大槌の若者の活動など取り上げる。

ホームページ <http://www.hyotanjuku.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/hyoutanjyuku>

本大槌は海と山に囲まれ先人たちが築いて来た町でもあります。その中で山手には現在もマタギは存在していますが今頃はあえて昔ながらのマタギを再現してみました。雪景色の中でのマタギをイメージしていましたが今冬は雪がなく山道での撮影となりましたが、先人の知恵が今でも受け継がれていることを大切にしたいものです。

本大槌を象徴する海を背景にし、荒たたく過ぎた5年間が何事もなかったかのような平穏な時間が流れている雰囲気を出してみました。そしてこのよな時間を早くに取り戻せることを願いながらの撮影でした。

本大槌のじいからを拍つていく若者達。ウィンドオーケストラのメンバーが集まるころには笑顔があります。明るい笑顔と音楽で町を元気あふれるものにしていくと確信しながら撮影に挑みました。

⑤<<新しい東北事業>>

◆具体的な事業内容 ③-2 <<新しい東北事業>>	⑤人材育成の中間支援事業 大槌町コミュニティ再生会議事務局運
実施日時	H27年7月～H28年3月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	3人
受益対象者の範囲及び人数	270人
事業費の金額(千円)	2,928千

興庁新しい東北事業 大槌まちゼミ：若者による地域ビジネス支援モデル構築事業運営を行う。高校生を含む地元の若者たちが自己の企画を実践するための仕掛となるよう本事業の組み立てを行う。本事業では①地域の問題意識や課題を整理し、②自己の持つ関心度、知識や技術やネットワーク等の現状を分析する。③今後の展望や将来像に向けての必要な知識、技術などを自ら体験、学ぶ機会を設定する。そこには、専門家や地域の実践者など適時助言等を行うような伴奏型の体制がある。④その学びや体験を実践できる場をサポート。

【取組1】 「まちゼミ」をつうじた若者による

地域ビジネス支援のプログラム立案と支援組織体制の強化

a) 支援プログラム企画立案

地域ビジネスを大槌町にて展開していくため、事業推進の進行状況の確認やアドバイザー専門家等の情報交換を行う。事業主体である住民や住民団体が事業企画を推進するためのサポートを行う体制を構築する。逐次専門家により評価してもらうことで運営やサポート体制に関するアドバイスを得ることができた。地元地域における企業や大槌高校などの協力・サポートネットワークの構築につながることで、継続したソフト面におけるまちづくりを推進していくための情報交換や企画運営への協力などが行いやすい関係が構築された。

b) 地域ビジネス支援プログラム事例の調査

人口減少や若手の担い手不足などの地域課題を持つ地域における、地域活性化の取組の視察研修を実施する。人口減少対策の一例としての高校の存続と将来的な地域への波及効果や、地域の若い世代を支えるまちづくりの仕組み、取組への示唆などを得る事が出来る研修となる。視察参加者には、大槌町コミュニティ再生会議のメンバーと、大槌高校生、行政職員も同行する。地域づくりの新たな協力体制の構築につながる視察研修となる。

実施時期：平成28年3月12日～14日

実施地域：三重県多気町 相可高校・伊勢市 南伊勢高校



## 【取組 2】 アウトリーチ型事業高度化支援プログラム

高校生を含む若者が企画実施していく事業を、地域課題の解決、さらに事業として持続性や事業性、波及性がより高い高度な企画として試行するために、コミュニティビジネスなどの専門家による専門的かつ的確な支援（アウトリーチ型のプロセス支援）を行った。

事業に取り組む若者に寄り添い、若者のニーズをより積極的かつ正確にくみとり、伴奏型に近いサポートで自立性を高め、その成果をまちゼミで共有していく一連の事業を実施した。

### a) 企画書づくりミニゼミ

高校生を含む若者からコミュニティビジネスやまちづくり活動の企画立案をすることをサポートする事業の実施。事業のコンセプト形成や予算作成などをコミュニティビジネスの実施者や専門家等よりアドバイスを受けられる機会の提供。

日時：平成 27 年 6 月～8 月 実施場所：大槌町内一円

- ①コミュニティデザイン講座
- ②事務局による企画提案予定者へのヒアリングと企画書作成サポート

### b) 企画発表会まちゼミ

高校生を含む若者が立案した企画提案を公開審査会にて選定。4 団体がプレゼンテーションを行った。企画は、多くの応援者や関心をもつように、ホームページやフェイスブック等 SNS を活用する。リアルタイムに活動の様子を発信、広くコメントやアドバイスを受ける機会として各企画を盛り上げていく。

実施時期：平成27年10月6日 18：00～20：00 実施場所：大槌町役場 会議室



### c) 中間相談会・まちゼミなどをつうじたプロセス支援

事業の進展に応じ中間相談会・個別相談会・専門家派遣等必要な支援を実施する。各専攻企画を中心に、必要とされる知識、経営、技術やネットワーク構築に向けた講座やアドバイスを行う。

①中間報告会・中間相談

②専門講座の開催

②-1 ソーシャルビジネス講座-1 日時：平成27年10月6日

～地域課題解決型事業を生み育てるためのツボを学ぼう！

②-2 ソーシャルビジネス講座-2 経営について語ろう 日時：平成27年10月7日

②-3 ソーシャルビジネス講座-3 ～町おこしは人おこし～ 日時：平成28年2月12日

②-4 ソーシャルビジネス講座-4 ～あなたも町の仕掛け人～ 日時：平成28年2月13日

②-5 ソーシャルビジネス講座-5 日時：平成28年3月12・13日

d) 最終報告会まちゼミ

公開型の発表会をまちゼミの最終回として行い、成果課題を共有し次年度の活動につながる。4企画の成果報告と実施者、地域の応援者、専門家やアドバイザーとのつながりネットワークの維持を図ると共に、事業の更なる展開に向けての意見交換の機会を設ける。

地域課題解型の企画やソーシャルビジネス系の事業が継続的に実施されることで、震災後の脆弱な地域コミュニティ力の強化や経済発展へ寄与していく動きとなりうる。

実施時期：3月6日 (計1回) 実施場所：大槌町コミュニティプレイス




大槌町コミュニティ再生会議 HP


<http://www.yumefukuramu.com/challenge2014/>

⑥<<募金活動>>

◆事業名 <<募金活動>>	⑥お互い様募金活動
実施日時	H26年5月～11月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	(一)
受益対象者の範囲及び人数	(一)
事業費の金額(千円)	51千

	<p>お楽しみ市の開催に合わせて、直近の被災地や人道支援への募金活動を行う。</p> <p>ネパール地震（日本赤十字社）（FIDR） 台風 18 号水害栃木県洪水（栃木県社会福祉協議会）</p>
---	---

◆運営協議体としての活動

◆具体的な事業内容	大槌町ボランティア団体連絡協議会 3.11 の灯り
実施日時	H26 年 11 月 13 日
実施場所	大槌町社会福祉協議会
従事者の人数	2 人
受益対象者の範囲及び人数	1000 人
事業費の金額(千円)	(一)
	<p>町内の活動団体との連携や情報交換を行う。</p> <p>3 月 11 日には、追悼イベントの企画から当日運営に関わる。多くの町民の方々とのネットワークの構築となる。</p> <p>大槌町社会福祉協議会事務局</p>

◆会議等への参加

会議・検討委員会参加	
①コミュニティ協議会	<p>主催：大槌町役場 10 月 29 日、7 月 13 日</p> <p>まちづくりについて、地域の声を聴くワークショップへの参加。情報の提供を行う。</p>
②愛アネット高齢者見守りネットワーク交流会	<p>地域の見守り体制の協力交流会に参加</p> <p>現状と地域他団体との顔合わせ</p>
③公営住宅視察研修	<p>主催：大槌町 10 月 22 日～29 日 10 月 2 日</p> <p>宮城県・岩手県内の公営住宅の運営、自治会形成など視察し、検討会に参加する。</p>

◆協力後援

協力・後援	
①立ち上げ支援講座	<p>主催：CLC 全国コミュニティライフサポートセンター</p> <p>平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月</p> <p>岩手・宮城・福島県において、地域支え合いの活動を事業化する講座開催をサポート</p>

	<a href="http://www.clc-japan.com/events/index/2015">http://www.clc-japan.com/events/index/2015</a>
②S-1 グランプリ 第3回いがす大賞	主催：CLC 住民が主体の地域活動、地域支え合い活動の様子を取り上げ発表する企画。公募から情報収集等を行う。大槌町や岩手からの出場に繋げる。 <a href="http://www.clc-japan.com/events/detail/6247">http://www.clc-japan.com/events/detail/6247</a>

## (2) その他の事業

収益事業は、今年度は行っていない。

以上